聖書講義ノート（K2-3-12&13&14&15）

＜以下ノート内容：6 頁＞

2004 年 8 月 6 日（金）
朴可永宣教師
（場所不詳）

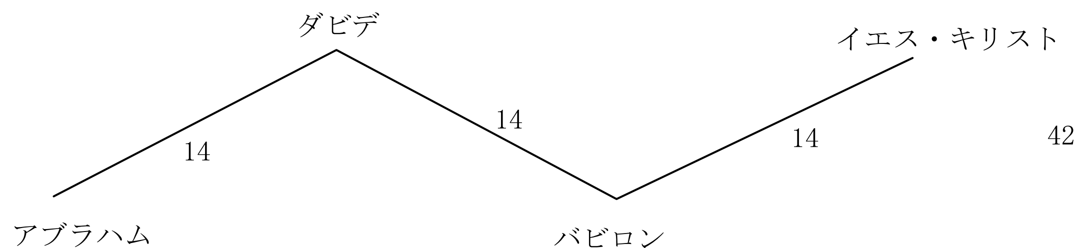
「キリストの系図」

マタイ 1:17
キリストの系図がかいてある
福音書とはイエス様の伝記
イエスはキリストだと証明するためにかかれたもの
2000 年前、イエスという名とキリスト（＝救い主）という名の間に
大きなみぞがあった
それを証するためにマタイはここで証言している。
以前　修練会で牧師様が伝えられた
キリストに出会ったかんげきをこのように伝えるには
どうすればいいか
系図をみていく

マタイは　この世の王としてこられたイエス・キリストを伝えた
マタイ伝では、アブラハムからはじまる
ユダヤ人に向けてかかれたもの
ユダヤ人の先祖がアブラハムから
アブラハムの中には　アダムとノアの歴史も含まれている
アダム、ノアの家族の失敗を　アブラハムが回復した
旧約は　アダムがだらくしたその時から　イエス様がこられるまで 4000 年
それを　マタイは３つに分けた
アブラハム―ダビデ　　ダビデ―バビロン移住　　バビロン―キリスト
なえ、ほ、み　に分けた
神様の御国を段階に分けた
イスラエルの歴史は神殿と関係がある
その時の歴史が（判読不能）ほろびていて、苦難がある
イスラエルの歴史を深く見てみると、いつも１つにさせようとして
エジプトから出て、荒野でくらす
いつも幕屋をたててくらし、神殿を中心（判読不能）
出エジプト記のけつろんも神殿をたてることでおわった
それほど神殿のしめるイスラエルの歴史は大きい
なぜそのように神様に神殿と１つになるくんれんを（判読不能）
本当の神殿がくるまで準備するということ
まことの神殿は　イエス・キリスト
旧約の結論は　イエス・キリスト

K2-3-12&13&14&15

全ての焦点がそこに集中している
アダムが本当は神殿となるべき立場だった
私たち１人１人が神殿となるべきだった
けがれた家になってしまった
聖なる神殿として　うまれかわらなくてはいけない。
この地が美しい神殿でみたされないといけない。
新しい人が教会にくると、毎日くるようにいう
キリストと１つになるためのくんれん。
まことの神殿であるイエス・キリストがこの地にこられた。



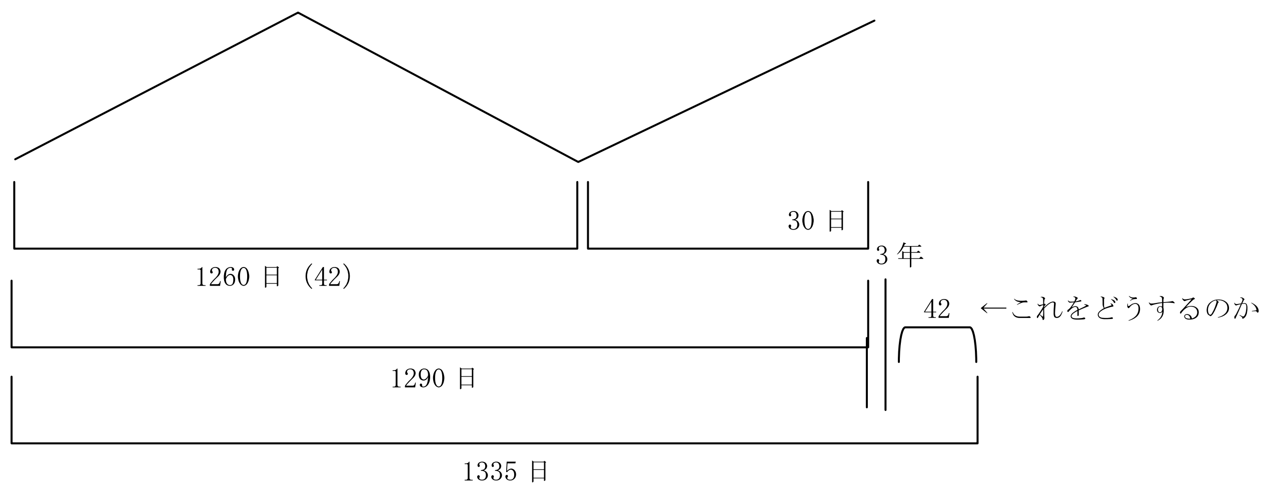
長い苦難の谷間をとおしてこられた
42 代の意味がわからないと、理解をしたとはいえない。
イスラエルの民にとって 42 はとても意味がある数
イスラエルの地域をおさめていたのはアレクサンダー王が死んで
５つに分けて、その地を与えた。
その中で１番悪名高い王。
その中でなかなか屈しない民族がいた。
彼らはエホバという神をいつもしんじ、
毎日礼拝をしていた
彼らの中心の神殿をはかいしようとした。
いむべきものをたてたり（ゼウス神）
イスラエル民にとって何よりも尊い神殿の中に　ゼウス神を
たて、はかいした
十戒に反することを強要させた。
そして彼らの信仰をはかいしようとした。
信仰を捨てる人もいたが、その中でマタニヤという人が
アンティクスの軍隊とたたかう群れをつくった
山にのぼって身をかくして　たたかいはじめた。
冬や安息日にとてもこまった
また　にんぷ　とても大変
こういう事情をしって　よげん書をみる

マタイ 24:15-21　小黙示録
実際の歴史でこういうことがおこったと知っておくこと
マタニヤの軍隊が勝利した
42 ヶ月　＝ 3 年半
神殿をうばわれたその期間が（判読不能）

K2-3-12&13&14&15

旧約全体の歴史をみる
人間がだらくして　神殿をうばわれた
42 代経てこられたのがイエス・キリスト
その預言が成就（判読不能)、イエス様がこられた

ダニエル 12:5-13
旧約の預言は新約で成就した
イエス・キリストがこられたときに成就
:5　私たちをこの苦しみから解放して下さるのはいつであるか
ひととき、(判読不能)
　3 年半　＝　42 ヶ月　1260 日
この世の王として　イエス様がこられた
1290 日、1335 日は何か。
預言は必ず成就されるもの。



イエス様がこられて　神殿が回復されておわりじゃない
神に従って多くの人がキリストになる
神の国民をなす民たちが必要
時間がかかる
イエス様は 30 年間私的な人生をおくられた
旧約の預言は新約に成就される
のこされた 42 は新しい時代に成就される。

黙 11:1-6　この預言は　のこされている（判読不能）のこと
ダニエルの預言で、イエス様ののこされた
神様の預言は必ず成される
選ばれた民が責任を果たさないと延期される
イエス様の中の、神の御国の希望、業がのこってしまった
3 年間　神の御国のために十字架の道を歩み
選民の無責任により十字架につけられるしかなかった
愛をもって全ての暗闇のけんせいにうちかたれた。
今の私たちの心の中にその方が生きている

その方の道に従って歩まないといけない
イエス様が全て歩まれる（判読不能）道をひきついでいかないとけない
今の時代はイエス様に従った弟子たちのように
残された歴史をひっぱっていく群れ、新しいイスラエルが必要。
42ヶ月、1260日、2人の証人、これらの意味（判読不能）
イエス様がこの地にこられるまでの期間は苦難のきかん。
イエス様がこられる前は神殿の外の歴史　→　ここ
キリストのこられるまでは異邦人の世界

:3　神殿は2人の証人を（判読不能）
:4-5　だれも彼らに害を加えられない2人の証人
:6　エリヤとモーセ
旧約で一番大切な証人を2人出すとするとこの2人。
モーセは祭司長の代表　エリヤは預言者の代表
　水を（判読不能）　　　　火の預言者
旧約を、イエスキリストがこられるまで守ったのは
モーセとエリヤの伝統
祭司長　預言者
その伝統をひきついでいく人たちがすることは
イエス・キリストがこられた時に油をそそぐこと
しかしイエス様が現れても　みんな眠っていた
マリヤという女1人しか油をそそがなかった
その伝統の最後はだれだったのか

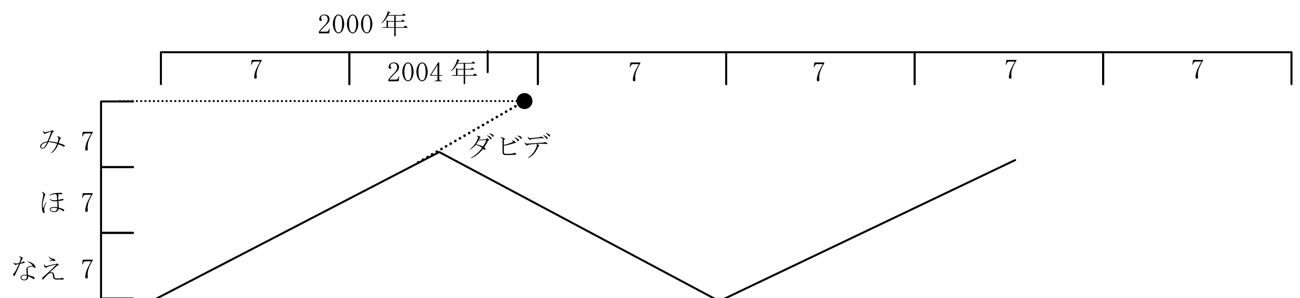
マタイ11:14　バプテスマのヨハネ
きたるべきエリヤ
ルカ1:17　エリヤの霊の力をもってうまれた
彼がバプテスマのヨハネ
しかし彼はつまづいてしまった
モーセの伝統をけいしょうするのはだれなのか
神殿の祭司長たち
ヨハネの父は家は大祭司だった
彼らがイエス様をキリストと証する尊い立場にたっていた
しかし　彼らは使命を果たせず　つまづいてしまった
低くなられて直接弟子たちをよばれなくてもよかった
みすぼらしい漁師、罪人、無学な人たちをよばれた
B・ヨハネが果たせなかった使命　大祭司の使命を
みすぼらしい弟子たちがよばれた

代表ペテロとパウロ
ペテロ　―　カトリック
パウロ　―　プロテスタント
この2つが新約の時代を守ってきた
今現在までそうなっている。

K2-3-12&13&14&15

この２つの上に立つ人がはやく歴史に（判読不能）ったら
歴史ははやくすすんだはず
でも私たちにきびしいということは　もうすでにつまづいているということ
神様の歴史からみると、かなしいれきしのように見える
この尊い歴史が私たちにまできたのだから、
私たちだけは　かたくたって、主の証人となる（判読不能）
雲となり、ミネをひらき、オリーブの木でないといけない
のこされている 42 年をなしていく立場にいる
そのことをわすれてはいけない

1992 年 10 月 30 日に教団がはじまった
93年　 復活祭が本格的にはじまった
牧師先生がうまれたのは　49 年 10 月 30 日
回復され、そこから歴史がはじまった
さらにそこから 42 年
2000 年に 7 年目を迎え　このように（判読不能）られて
今どこにいるのかというと



最後の 7 年間はとても大変だった
今も苦労している
でも最初の 7 年間とくらべると　そんなに大したことない
いつも殺そうとするサタンがいる
日本の 7 年も苦労がずっと来た
7 年は共同体の実をむすぶ期間
神の御国の清い種となっていく
先老が 7 年あゆみ、ふえ、成婚して　家庭教会
天の国の基礎となる家庭教会
その新しい歴史をひらいていく子がうまれた
御言葉の中で育てられ民がでてくる
そういう美しい世界が見えてきている
何もしなくてもどんどん発展していく

苦労するときは苦労しないといけない
主が私たちを信じてくださり、よんで下さって
十字架の生、福音の（判別不能）るしていく。
永遠の生を与えられた
イエスと使徒たちがあゆんだ道をけいしょうして

歩んでいくように
歴史は神様の愛でなしていく。
いつもイエス・キリストの愛を心にとめて。
歴史を作っていく。
これを知っているとくたびれない。
信仰の道をあゆむとき　かはるのは歴史。
主は歴史を示して下さった。
よりはやく神の国の模型をつくっていくために
もっと苦労していく
苦労しないと何もいうことがない。
与えられた歴史を伝えていこう。
目をひらいて、サタンがどこにでもいる
目をひらいて、みんなが伝えないといけない
自分に善い立場が与えられていると（判別不能）
力をいれて歩んでいくように

＜以上ノート内容＞